

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成26年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 26 年 8 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 26 年 8 月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	8月1日～31日	通年連続

(2) 水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	8月29日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

【参考】(自主検査)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
ノニルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS) 亜鉛	5点 【1, 2, 3, 4, 5】 上層のみ調査	8月29日	1回/年

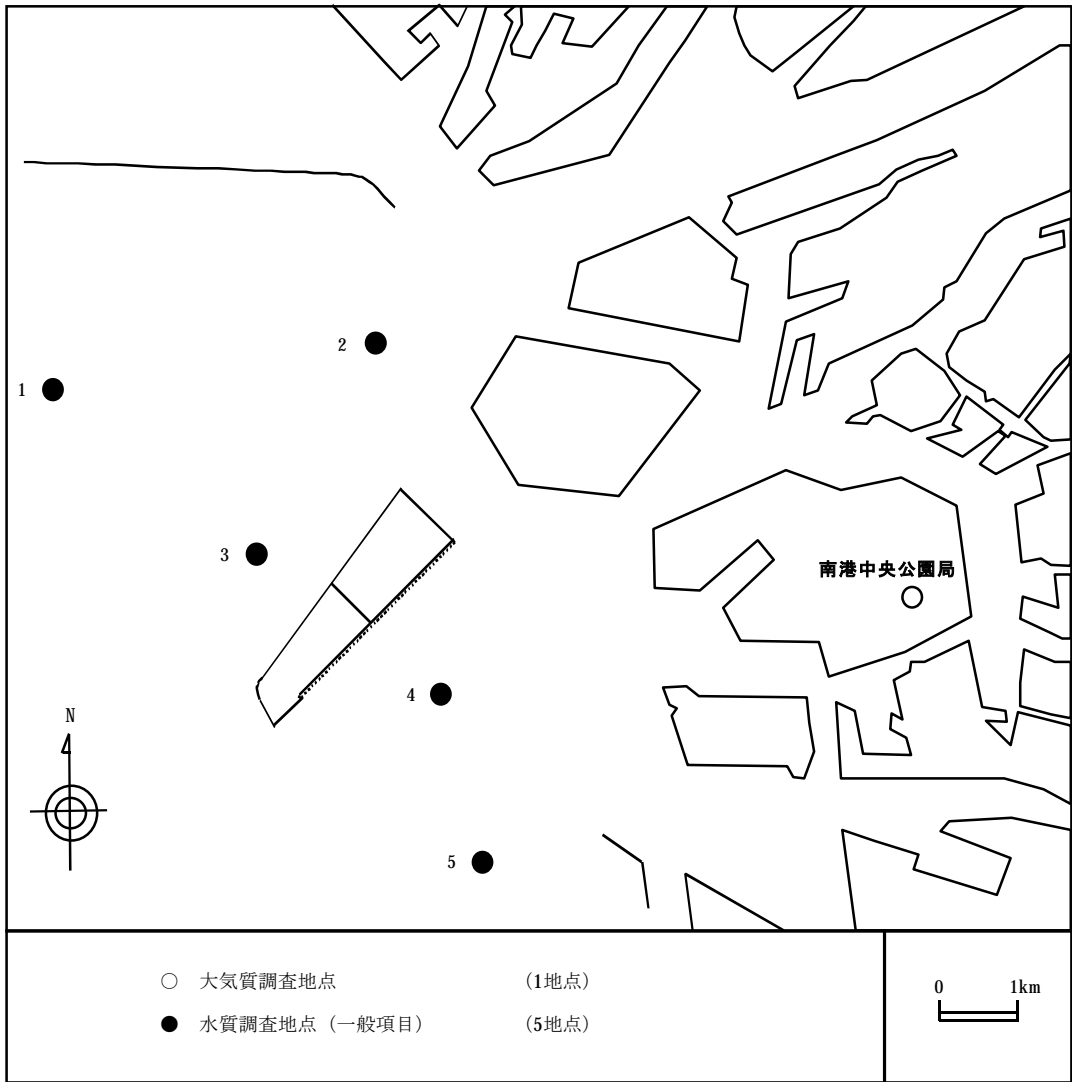
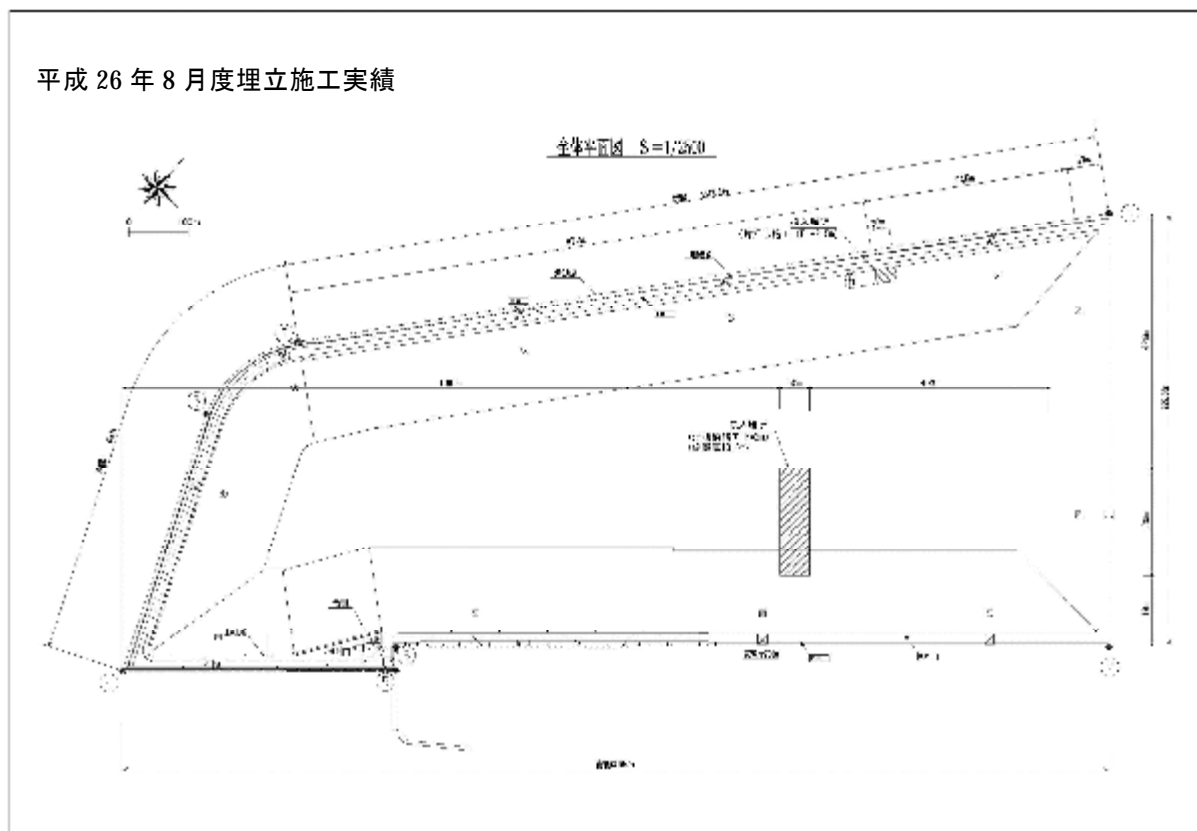


図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 26 年 8 月)

2. 工事の実施状況

平成 26 年 8 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量(m ³)	進捗率(%)
2,858,383	20.5

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 26 年 8 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、**0.004ppm**であった。また、日平均値の最高値は**0.008ppm**、1時間値の最高値は**0.017ppm**であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、**0.015ppm**であった。また、日平均値の最高値は**0.033ppm**であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、**0.026mg/m³**であった。また、日平均値の最高値は**0.045mg/m³**、1時間値の最高値は**0.066mg/m³**であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質（一般項目） [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で**8.1～8.2**、下層で**7.9～8.1**の範囲にあり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で**2.2～2.9mg/L**、下層で**1.7～1.9mg/L**の範囲にあり、上層、下層のいずれも全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で**5.1～6.5mg/L**、下層で報告下限値未満 (<0.5mg/L) ～**4.3mg/L**の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 1 (<0.5mg/L)、調査地点 2 (1.2mg/L)、調査地点 3 (1.6mg/L)、調査地点 4 (4.3mg/L)、調査地点 5 (3.2mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は下層で**0.6～11mg/L**であり、調査地点 1 の下層でこの範囲を下回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で**0.36～0.83mg/L**、下層で**0.25～0.41mg/L**の範囲にあり、上層では調査地点 4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基

準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 4 (0.83mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.049~0.10mg/L、下層で 0.050~0.10mg/L の範囲にあり、調査地点 3 の上層及び調査地点 5 の下層を除く全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.067mg/L)、調査地点 2 (0.060mg/L)、調査地点 4 (0.10mg/L)、調査地点 5 (0.051mg/L) 及び下層における調査地点 1 (0.075mg/L)、調査地点 2 (0.066mg/L)、調査地点 3 (0.10mg/L)、調査地点 4 (0.057mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1.2~4.0 度(カリン)、下層で 1.4~3.0 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 1~5mg/L、下層で 1~2mg/L の範囲であった。

8) コロフィル a

コロフィル a は上層で 1.5~8.2 μ g/L、下層で 0.2~0.7 μ g/L の範囲であった。

【参考】ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)、亜鉛

ノニルフェノールは<0.00006mg/L、LAS は<0.0001~0.0004mg/L、亜鉛は 0.002~0.005mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75% 水質値**」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成26年8月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成26年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.007	0.010
	2 (土)	0.004	0.008
	3 (日)	0.004	0.008
	4 (月)	0.002	0.004
	5 (火)	0.004	0.008
	6 (水)	0.005	0.009
	7 (木)	0.006	0.012
	8 (金)	0.004	0.007
	9 (土)	0.002	0.002
	10 (日)	0.002	0.005
別	11 (月)	0.007	0.017
	12 (火)	0.007	0.015
	13 (水)	0.007	0.013
	14 (木)	0.005	0.010
	15 (金)	0.002	0.004
	16 (土)	0.002	0.004
	17 (日)	0.003	0.006
	18 (月)	0.003	0.007
	19 (火)	0.004	0.008
	20 (水)	0.004	0.005
値	21 (木)	0.005	0.007
	22 (金)	0.004	0.008
	23 (土)	0.003	0.006
	24 (日)	0.003	0.005
	25 (月)	0.008	0.015
	26 (火)	0.005	0.009
	27 (水)	0.004	0.007
	28 (木)	0.004	0.010
	29 (金)	0.004	0.007
	30 (土)	0.004	0.005
	31 (日)	0.004	0.007
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		742	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.008	
1時間値の最高値 (ppm)		0.017	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成26年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.016	0.039
	2 (土)	0.022	0.047
	3 (日)	0.010	0.023
	4 (月)	0.013	0.048
	5 (火)	0.007	0.032
	6 (水)	0.006	0.013
	7 (木)	0.007	0.022
	8 (金)	0.007	0.023
	9 (土)	0.003	0.013
	10 (日)	0.001	0.006
別	11 (月)	0.002	0.015
	12 (火)	0.004	0.014
	13 (水)	0.004	0.019
	14 (木)	0.004	0.012
	15 (金)	0.002	0.004
	16 (土)	0.002	0.008
	17 (日)	0.001	0.005
	18 (月)	0.006	0.027
	19 (火)	0.008	0.022
	20 (水)	0.006	0.015
値	21 (木)	0.008	0.022
	22 (金)	0.007	0.019
	23 (土)	0.003	0.015
	24 (日)	0.002	0.007
	25 (月)	0.010	0.058
	26 (火)	0.006	0.022
	27 (水)	0.002	0.007
	28 (木)	0.006	0.021
	29 (金)	0.003	0.012
	30 (土)	0.003	0.013
	31 (日)	0.000	0.001
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.022	
1時間値の最高値 (ppm)		0.058	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成26年8月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		
日	1 (金)	0.038	58.7	0.070	
	2 (土)	0.039	45.0	0.067	
	3 (日)	0.025	61.4	0.040	
	4 (月)	0.024	46.2	0.063	
	5 (火)	0.016	54.6	0.043	
	別	6 (水)	0.017	66.3	0.029
		7 (木)	0.022	68.0	0.045
		8 (金)	0.028	73.7	0.048
		9 (土)	0.015	79.7	0.035
		10 (日)	0.006	87.5	0.018
		11 (月)	0.022	90.5	0.054
		12 (火)	0.037	90.5	0.061
		13 (水)	0.029	84.7	0.054
		14 (木)	0.019	78.2	0.034
		15 (金)	0.009	79.4	0.015
値	16 (土)	0.011	82.7	0.023	
	17 (日)	0.009	90.2	0.019	
	18 (月)	0.017	63.4	0.050	
	19 (火)	0.018	57.1	0.035	
	20 (水)	0.015	60.7	0.024	
	21 (木)	0.021	59.7	0.033	
	22 (金)	0.019	62.4	0.042	
	23 (土)	0.012	71.8	0.026	
	24 (日)	0.015	87.6	0.023	
	25 (月)	0.033	68.8	0.088	
	26 (火)	0.026	78.6	0.045	
	27 (水)	0.021	92.0	0.037	
	28 (木)	0.030	81.7	0.072	
	29 (金)	0.029	88.5	0.057	
	30 (土)	0.021	86.8	0.041	
	31 (日)	0.008	98.0	0.018	
有効測定日数 (日)		31			
測定時間 (時間)		741			
月平均値 (ppm)		0.021			
日平均値の最高値 (ppm)		0.039			
1時間値の最高値 (ppm)		0.088			
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		72.4			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値 NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成26年8月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多
		平均 風速 (m/s)	最大風速		風向 16方位
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (金)	0.7	2.1	W	WNW
	2 (土)	0.5	1.1	W, ESE	CALM
	3 (日)	0.6	1.2	S	CALM
	4 (月)	1.1	2.8	SW, SSW	SW
	5 (火)	1.5	2.4	SSW	SW
	6 (水)	1.6	3.6	WSW	WSW
	7 (木)	0.8	2.8	W	WNW
	8 (金)	1.7	3.5	NNE	NNE
	9 (土)	2.2	3.2	NE, ENE	NNE
	10 (日)	2.4	5.0	SSW	ENE, SSW
	11 (月)	1.0	2.0	WSW	SW
	12 (火)	0.9	1.7	ESE	ESE
	13 (水)	0.6	1.3	WNW	WNW, CALM
	14 (木)	1.0	3.0	W	WNW
	15 (金)	1.1	3.1	WSW	WSW
値	16 (土)	1.0	2.2	SW	SW
	17 (日)	0.9	2.5	WSW	W
	18 (月)	1.3	3.5	WSW	WSW
	19 (火)	1.1	2.9	WSW	WSW
	20 (水)	1.1	2.5	WNW	W
	21 (木)	1.0	2.6	WNW	WSW
	22 (金)	1.1	2.4	WSW	WSW
	23 (土)	1.1	2.5	W	WSW, W
	24 (日)	0.8	1.9	ENE	ENE, N
	25 (月)	0.7	1.9	SW	CALM
	26 (火)	1.3	2.4	WSW	WSW
	27 (水)	1.1	2.0	N	N
	28 (木)	1.0	1.7	N	N
	29 (金)	0.8	1.8	WSW	N
	30 (土)	0.9	1.8	NNE	ENE
	31 (日)	1.3	2.3	ENE	ENE
測定時間（時間）		744			
月平均風速（m/s）		1.1			
月最大風速（m/s）		5.0			
月最多風向（16方位）		WSW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成26年8月分]

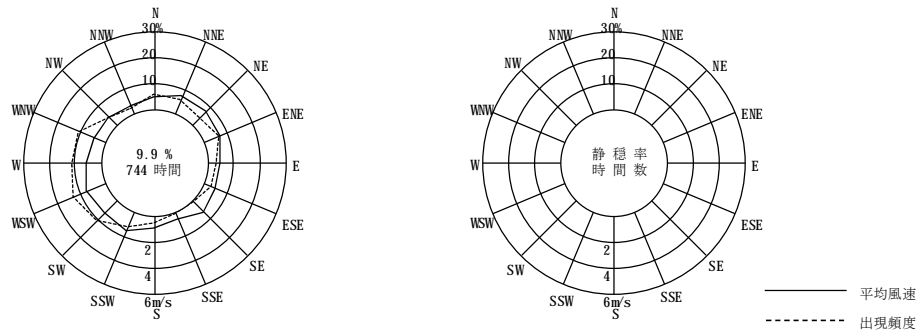
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WWW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	43	30	47	25	24	6	4	17	45	77	97	82	82	29	18	44	74	744
頻度 (%)	5.8	4.0	6.3	3.4	3.2	0.8	0.5	2.3	6.0	10.3	13.0	11.0	11.0	3.9	2.4	5.9	9.9	-
平均風速 (m/s)	1.5	1.5	1.4	1.0	1.0	1.3	0.6	0.9	1.5	1.2	1.5	1.1	0.9	0.8	0.7	1.0	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成26年8月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成26年8月分]

調査日：平成26年8月29日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	12:16	12:41	11:57	8:56	8:38	—	—	
透明度 [m]	2.8	2.1	4.0	3.1	5.8	2.1 ~ 5.8	3.6	
水温 [°C]	27.6	27.4	27.3	26.4	26.0	26.0 ~ 27.6	26.9	
	26.2	25.8	26.2	25.5	25.6	25.5 ~ 26.2	25.9	
塩分 [—]	20.68	27.62	27.93	28.26	29.15	20.68 ~ 29.15	26.73	
	30.61	30.90	30.85	31.30	31.32	30.61 ~ 31.32	31.00	
濁度 [度(カリン)]	4.0	3.8	1.5	2.7	1.2	1.2 ~ 4.0	2.6	
	1.9	3.0	2.6	1.6	1.4	1.4 ~ 3.0	2.1	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	5	4	1	3	1	1 ~ 5	3	
	1	2	2	1	2	1 ~ 2	2	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.1	8.1	8.1	8.1	8.2	8.1 ~ 8.2	-	
	7.9	8.0	7.9	8.1	8.1	7.9 ~ 8.1	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	2.9	2.9	2.2	2.9	2.2	2.2 ~ 2.9	2.6	
	1.7	1.7	1.7	1.9	1.8	1.7 ~ 1.9	1.8	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	6.5	5.5	5.5	5.1	5.9	5.1 ~ 6.5	5.7
	飽和度 [%]	<0.5	1.2	1.6	4.3	3.2	<0.5 ~ 4.3	2.2
全窒素 (T-N) [mg/L]	93	81	81	74	86	74 ~ 93	83	
	7.4	18	24	63	47	7.4 ~ 63	32	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.57	0.51	0.36	0.83	0.46	0.36 ~ 0.83	0.55	
	0.41	0.36	0.37	0.32	0.25	0.25 ~ 0.41	0.34	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.067	0.060	0.049	0.10	0.051	0.049 ~ 0.10	0.065	
	0.075	0.066	0.10	0.057	0.050	0.050 ~ 0.10	0.070	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	8.1	8.2	4.3	4.4	1.5	1.5 ~ 8.2	5.3	
	0.2	0.3	0.3	0.4	0.7	0.2 ~ 0.7	0.4	

注) 上段：上層 (海面下1m)
下段：下層 (海底面上2m)

特記事項

【参考】（自主検査）

水質調査結果

調査日：平成26年8月29日

項目	調査点	1	2	3	4	5
ノニルフェノール [mg/L]		<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
		定量下限値 0.00006				
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩（LAS） [mg/L]		<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.0004	<0.0001
		定量下限値 0.0001				
亜鉛 [mg/L]		0.003	0.002	0.002	0.003	0.005
		定量下限値 0.001				

項目	環境基準値
ノニルフェノール [mg/L]	0.001
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩（LAS） [mg/L]	0.01
亜鉛 [mg/L]	0.02